重点施策 1 国際産業戦略港湾の実現に向けた取組の強化

施策の展開

- コンテナ船の大型化等に対応するためのコンテナ取扱機能のさらなる強化や、効率的な完成自動車輸送に向けた完成自動車取扱機能の集約・拠点化等、ふ頭再編への取組を積極的にすすめます。また、AI、IoTなど情報通信技術の活用によるコンテナターミナルの生産性向上やポートアイランドの利活用等、次世代への施策展開につなげていく取組を、関係者と連携しながらすすめます。
- 港湾整備等に伴い発生するしゅんせつ土砂を長期的・安定的に処分するための新たな土砂処分場の早期確保の取組を、関係者と連携しながらすすめます。
- 県内3港（名古屋港、衣浦港、三河港）と背後産業のサプライチェーン全体の生産性向上を目指して、関係者が連携して港湾物流機能強化施策に取り組みます。さらに効果的な取組となるよう、伊勢湾全体での広域的な連携もすすめます。

重点施策1を推進する事務事業

飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業

■ 概要

中部圏で生産される自動車部品・産業機械等の東南アジア向けコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化に対応するため、飛島ふ頭地区（NCBコンテナターミナルR1岸壁・R2岸壁）既存の水深12m岸壁を増深（水深15m）・耐震化する改良工事を引き続き実施します。

■ 成果目標

	飛島ふ頭地区岸壁（水深15m）（改良）整備進捗状況
現況 （平成30年度までに完了した工程）	事業採択、調査設計、工事着手
目標 （令和5年度までに完了予定の工程）	R1岸壁改良、R2岸壁改良、泊地※整備

金城ふ頭地区ふ頭再編改良事業

概要

我が国の基幹産業である自動車関連産業の国際競争力を維持・強化するため、完成自動車の輸出やトランシップ、海外生産車の輸入を行う完成自動車のハブ港としての更なる機能強化を図る必要があります。船舶の大型化への対応及び効率的な輸送の実現に向けて、金城ふ頭に完成自動車輸送機能を集約・拠点化する新規耐震強化岸壁の整備及び保管用地の造成を引き続き実施します。

成果目標

	金城ふ頭地区岸壁（水深12m）（新規）整備進捗状況
現況 （平成30年度までに完了した工程）	事業採択、調査設計、工事着手
目標 （令和3年度までに完了予定の工程）	新規岸壁整備、泊地整備

新たな土砂処分場の確保

概要

名古屋港の港湾機能を維持強化していくために発生するしゅんせつ土砂を、長期的・安定的に受け入れることができる処分場を早期に確保する必要があります。国土交通省中部地方整備局が実施する新たな土砂処分場の確保について、国等の関係機関と連携しながら必要な手続きに取り組みます。

成果目標

	新たな土砂処分場の確保に向けた進捗状況
現況 （平成30年度までに完了した工程）	漁業影響調査、環境影響評価手続きの開始
目標 （令和5年度までに完了予定の工程）	環境影響評価手続きの完了、港湾計画への位置づけ、護岸整備(一部)

ポートアイランド利活用のあり方検討

■ 概要

ポートアイランドは、名古屋港内に残された大きな可能性を有した空間であり、物流、産業、交流、環境、安全などの利用が想定されます。そこで、港湾管理者として利活用のあり方の基本的な考え方を整理し、関係者との議論を重ねていきます。

■ 成果目標

	検討の進捗状況
現況 （平成30年度までに完了した工程）	―
目標 （令和5年度までに完了予定の工程）	利活用のあり方の基本的な考え方の整理、関係者との議論

名古屋港の物流効率化に向けた情報通信技術の活用

■ 概要

情報通信技術の活用により、コンテナターミナルの生産性向上、労働環境の改善及び既存システムの充実・高度化について、関係者との情報共有や協議を実施します。

■ 成果目標

	情報共有や協議の回数	目標の考え方
現況 （平成30年度時点の状況）	―	情報通信技術の活用に関する情報共有や協議の回数
目標 （令和5年度値）	3回/年	

愛知県内3港連携・伊勢湾連携の推進

■ 概要

県内3港（名古屋港・衣浦港・三河港）の連携による物流機能強化に努めるとともに、港湾運営会社と連携し、伊勢湾全体の港の国際競争力を高め、より一層利用される港となるよう情報共有やPRを実施します。

■ 成果目標

	連携する施策数	目標の考え方
現況 （平成30年度時点の状況）	3施策	県内3港や伊勢湾連携により実施される施策の数
目標 （令和5年度値）	6施策	

重点施策

2 地震・津波対策の充実・強化

施策の展開

▶ 発生が懸念されている大規模地震による津波から、港の利用者や背後地域の人々の生命と財産を守るため、地震・津波対策として防潮壁改良を行うなど、防護機能の強化を関係機関と連携しながら着実にすすめます。また、大江川地区については、防護ライン変更に伴う防潮壁の整備を行うとともに、地震に伴う液状化による汚染土壌の拡散を防止する対策などをすすめます。

重点施策2を推進する事務事業

防潮壁改良事業

■ 概要

地震・津波対策として、水際線に面し背後地盤高が低く津波の浸水によって大きな被害が予測される箇所について、優先的に防潮壁の改良をすすめています。今後も継続して改良を進め、防護機能を強化します。

■ 成果目標

	防潮壁改良延長	目標の考え方
現況 （平成30年度時点の状況）	約1.1km注	築地東ふ頭地区、大手・中川口地区、大江ふ頭地区、昭和ふ頭地区、潮見ふ頭地区、大江川地区の改良延長の合計
目標 （令和5年度値）	約4.2km	

注：「三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画(平成27年12月変更)」において、今後概ね10年以内に着手及び着手検討する箇所のうちの整備済み延長

大江川地区地震・津波対策事業

■ 概要

大江川地区の地震・津波対策として、安全性、経済性などを踏まえ、河口部に防潮壁を新設することとし、今後は、関係者との調整を行いながら整備に取り組みます。また、汚染土壌を封じ込めている箇所については、非液状化材で盛土するなど汚染土壌の拡散防止対策に名古屋市と共同して取り組みます。

■ 成果目標

	大江川地区締切施設整備進捗状況
現況 （平成30年度までに完了した工程）	防護ラインの検討
目標 （令和5年度までに完了予定の工程）	事業化調査、事業採択、設計、工事着手、整備

重点施策

3 にぎわい創出に向けた再開発の推進

施策の展開

▶ ガーデンふ頭では、「多くの人々を呼び込むにぎわいの創出」、「人々が長くふ頭に滞在できるくつろぎの場の提供」を基本方針として、民間事業者の資金とノウハウをいかした取組をすすめます。また、中川運河にぎわいゾーンの魅力向上に向けて、覆砂※による底層環境の改善や水循環による水質改善などに取り組み、人々が水辺に親しむ機会の創出に努めます。

重点施策3を推進する事務事業

ガーデンふ頭再開発の推進

■ 概要

「ガーデンふ頭再開発基本計画」に位置付けられている「にぎわいの創出」と「くつろぎの場の提供」の実現のため、名古屋港水族館の集客力強化や緑地・広場の機能向上などについて、民間事業者への意見聴取を行うとともに、国や港湾関係者との合意形成を図りながら、再開発の基本的な内容を具体化し、再開発の実現に向け取り組みます。

■ 成果目標

	ガーデンふ頭再開発の進捗状況
現況 （平成30年度までに完了した工程）	基本計画の策定
目標 （令和5年度までに完了予定の工程）	基本的な内容の具体化、事業者選定・事業化

中川運河にぎわいゾーンの魅力向上

■ 概要

「中川運河再生計画」で位置付けられている「にぎわいゾーン」において、護岸の老朽化対策及びプロムナードの整備を行い、東支線においては、護岸補修及び遊休地の有効活用を図るとともに、水質改善に向け覆砂による底層改善に取り組みます。

■ 成果目標

	中川運河覆砂進捗状況
現況 （平成30年度までに完了した工程）	現況調査
目標 （令和5年度までに完了予定の工程）	設計、工事着手、整備

重点施策

4 港湾活動のグリーン化

施策の展開

▶ 照明設備のLED化などの省エネルギーの推進、太陽光等の再生可能エネルギーの利用拡大など、低炭素化に向けた取組を積極的にすすめます。また、船舶の排出ガス規制が強化されることに伴い、インセンティブ※の活用によりLNG燃料船の入港を促進するなど、LNGバンカリング※拠点形成の支援に取り組みます。

重点施策4を推進する事務事業

低炭素化の取組の推進

■ 概要

低炭素化の取組として、再生可能エネルギー設備の充実・利用拡大に向けて取り組みます。また、省エネルギー施策として、道路照明設備の計画的なLED化を進めるとともに、庁舎や荷さばき地等の照明についても、LED化の検討に取り組みます。

■ 成果目標

	新たな再生可能エネルギーの導入に向けた進捗状況
現況 （平成30年度までに完了した工程）	―
目標 （令和5年度までに完了予定の工程）	対象範囲の選定、設計、工事着手、整備

LNGバンカリング拠点形成の支援

■ 概要

世界的な海事分野における環境規制の強化に伴い、大気環境に与える影響が少ない船舶燃料のLNG化が進むことが予想されます。こうしたことから、LNGバンカリング拠点形成に向けた支援を行います。

■ 成果目標

	LNG燃料船入港隻数	目標の考え方
現況 （平成30年度時点の状況）	―	今後のLNG燃料船の建造予測を基に算出した入港隻数
目標 （令和5年度値）	80隻	